

氏名 (3年次既修者) 法科大学院等の在籍年次 3L

---

\*このレポートは主としてこれからインターンシップに行くことを考えている人達に情報提供を行うことを目的とするものです。以下の項目について適宜行数を増やしながらかき込んでいって下さい。文字数及び頁数に制限はありません。

\*このレポートは、記名で法学研究科のウェブサイトに掲載されます。もし氏名掲載を希望しない場合には、その旨をお知らせ下さい。

\*重要情報についてはできる限り具体的に記載して下さい。また、後輩の方達に向けた率直なアドバイスをお願いいたします。

## 1 受入事務所と滞在期間

One Asia Lawyers シンガポール事務所

9/6~9/28

## 2 事務所の業務・構成・勤務条件及びインターンシップの内容等

契約書のレビュー、ドラフト、セミナー資料の和訳、リーガルリサーチ、クライアント会議の同席

## 3 宿舎及びその他の生活環境について

- ・ドミトリー(一泊約25\$)
- ・事務所近くのカプセルホテル(一泊約50\$)

宿は全てAgodaで予約・支払いしました。シンガポールの一番安い宿が20~30\$くらいのドミトリーになりますが、衛生面が悪く、かなりしんどい思いをしたので、絶対にやめておいた方がいいです。

場所的にはChina Town駅やClark Key駅の近くだと、コンビニも近くにあり事務所まで徒歩10分かからないくらいなので、ちょうど良いと思います。

予算の都合でカプセルホテルにせざるを得ませんでした。プライバシーがあまりなく、疲れも正直あまり取れないので、できるなら最初から個室で宿を取った方がいいと思います。個室だと一泊あたり70~120ドルくらいになると思います。

他のインターン生の方は、シェアハウスの募集を掲示板で見つけていて、現地の友達もできてかなり楽しそうだったのでシェアハウスするのも選択肢としてありだと思ひます。

#### 4 出発に向けた準備等について

資金調達

コモンローについての予習

#### 5 インターンシップに要した費用

旅券費:5万5千円(Scoot直行便)

宿泊費:9万円

飲食費:3万円

雑費:2万円

合計19万5千円 (補助金が7万円支給されるので実質12万5千円)

旅券費にのみ補助金が出るというわけではなく、旅券費と宿泊について上限7万円まで支給という形でした。

##### (持ち物)

- ・ スーツ一着
- ・ ワイシャツ5着
- ・ 普段着2日分
- ・ 下着類1週間分
- ・ タオル

市内にあるコインランドリーを使うと乾燥込みで大体18ドルくらいするので、多めに持って1回の洗濯でなるべく多く回した方がいいと思います。

- ・ 髭剃り
- ・ ドライヤー (ホテルにあったのでいらなかった。)
- ・ アイロン
- ・ パソコン、タブレット、充電器
- ・ サンドル一足
- ・ 現金200S \$

シンガポールは基本的にキャッシュレス社会ですが、EZリンクカード(交通系ICカード)にチャージしたり、ホーカーという、廉価なフードコートで食事する際には、現金決済が基本なので、あらかじめ空港で両替しておくともスムーズです。

- ・ VISAデビットカード

持って行ったのはVISAだけでしたが、特に不自由しませんでした。JCBが使えるところは

少なかつたような気がします。

#### (持っていった方がよかつたもの)

以下全てシンガポールで購入できますが、日本で買った方が安くて質がいいと思います。

- ・爪切り
- ・耳栓（相部屋なら必須。）
- ・プラグ変換器(シンガポールはBFタイプ)
- ・シャンプーリンスなど

## 6 これからインターンに行く人達へのアドバイス等

以下、当たり前のことですが、個人的に大事だと思ったこと（後悔したこと）についてまとめました。

#### ・渡航に必要な書類や手続等について余裕を持って調べておくこと。

特に、コロナ禍においては入国条件が常に変わりうるため、旅行サイトではなく、外務省や現地HP等の、信頼できるソースで最新の情報をチェックする必要があります。自治体によっては渡航に必要な書類（ワクチンパスポートなど）の発行を受けるまでに、申請から1週間以上かかる場合もあります。

#### ・英語の事前学習

現地アソシエイトの方と一緒に仕事をする機会があり、英語でコミュニケーションが円滑にとれると、携われる業務の幅が広がると思います。

（私は英語でコミュニケーションをとることがなかなかできず、残念ながら、現地アソシエイトの方と仕事をする機会はありませんでした。）

個人的には、リーディングは調べながらで何とかかなり、最終的に翻訳にかけてチェックできるので、さほど苦労しませんでした。リスニングとスピーキングに関してはある程度の慣れが必要であり、事前に準備しなかったことを後悔しました。

#### ・コモンローについての予習

シンガポールはコモンローの国なので、コモンローについて予習はしておいた方がいいと思います。

可能ならば、インターン前にロースクールの外国法の授業を履修することをお勧めしま

す。私の場合、3L前期に履修したアメリカ法の授業で学んだことがコモンローを理解する上で役に立ちました。

## 7 インターンシップの有用性等に関する評価及び感想

コモンローでの実務を経験できた点、ブロックチェーン等の先端的な分野に触れられた点が良いと思います。

現地の先生方や事務職の方々も気さくな方ばかりで、よくご飯に連れて行ってくださり、貴重な話を聞く機会に恵まれたのも良かったと思います。

もっとも、当たり前のことですが、一から丁寧に教えてくれるわけではなく、ぶっつけ本番で色々とやることになるので、ある程度の実力、準備、主体性が必要だと思いました。

3Lで行くことに抵抗がある方もいるかもしれませんが、個人的には行って良かったと思います。土日は休みなので、週末は事務所や図書館で勉強できるし、他のインターンとの兼ね合いでも、事前に調整できるので、三週間ほどだと問題ないと思います。